

東京・地域とともに走る東京メトロ

地域・国際社会へ向けて

東京圏を事業基盤とする東京メトログループは、首都東京の都市機能を支えるため、さまざまな施策を実施しています。今後、少子・高齢化等が見込まれていますが、これら施策の実施

により、東京の都市としての魅力と活力を引き出し、沿線地域の活性化につなげたいと考えています。また、国際社会へ貢献するため、積極的に国際協力・交流活動を実施しています。

沿線地域の活性化

■ 街の御用聞きプロジェクトの取り組み

駅係員が主体となって、沿線の自治体に赴き、沿線で実施されるイベント情報を直接収集した上で、東京メトロ社員として協力できることを“御用聞き”する取り組みです。イベントの告知

にとまらず、実際に社員がイベントに参加する等、地域の方々と交流することで沿線地域との連携を深めています。

■ 東京マラソンへの協賛

2007年の第1回大会から、東京メトロは特別協賛社としてアジア最大級のマラソン大会であり、スポーツと文化が融合した東京の魅力を実感できる「東京マラソン」を支え、東京メトロの事業基盤である東京の発展に貢献しています。

2015年の大会では、プレイベントとして「東京マラソン

EXPO2015」が行われ、ブースを出展しました。また、大会当日は東京メトログループ社員とその家族約130名が給水ボランティアに参加し、給水ブースでランナーに水を提供しながら声援を送り、大会を支えました。

■ 保育所の開設による沿線の子育て支援

沿線地域のお客様の子育てを応援するため、行政や保育事業者と連携し、待機児童数の多いエリアに保育所を開設しています。

現在、東西線西葛西駅・行徳駅・妙典駅・原木中山駅と

千代田線綾瀬駅で、駅近くの高架下にある東京メトログループの建物において、保育事業者が認可・認証保育所及び小規模保育室を運営しています。

■ 車両基地公開イベント

2014年11月9日に綾瀬車両基地にて「メトロファミリーパークinAYASE」を、2015年7月19日に新木場車両基地にて「メトロわくわくキッズまつりin新木場」を開催しました。普段入ることのできない車両基地を公開し、様々な体験・見学をしていただくことによりお客様や沿線地域の方々に東京メトロへの理解を深めていただくことを目的とした参加型のイベン

トです。両イベントともに、車両の展示や、こども制服撮影会、またメトロのお仕事体験などご家族で楽しめるイベントとし、近隣招待者も含めて「メトロファミリーパークinAYASE」では約12,000名、「メトロわくわくキッズまつりin新木場」では約2,600名のお客様に喜んでいただきました。

次世代育成支援

■ 鉄道ワークショップの開催

東京大学生産技術研究所と連携して、中高生を対象に「鉄道ワークショップ」を開催しました。2014年度は、鉄道電気の仕組みについて、東京メトロの変電設備の見学や東京大学生産技術研究所駒場リサーチキャンパスでNゲージを使用した講義と実験を行い、鉄道を通じて科学に関する理解を深めていただきました。



鉄道ワークショップの様子

■ JFAこころのプロジェクト「夢の教室」への協賛

公益財団法人日本サッカー協会が実施している、「夢の教室*」に協賛しました。2014年度は、市川市内及び練馬区内の小学校にて、元Jリーガーの式田高義さんをはじめとするスポーツ関係者が授業を行いました。

* 夢の教室：先生として派遣されたスポーツ関係者が「夢を持つことやそれに向かって努力することの大切さ」を伝えていくプログラムです。



「夢の教室」の様子

職場見学の受入れ・訪問

工場・検車区では実際の業務の見学、駅では構内放送の体験、乗務管区では事務室の見学などの内容でそれぞれ職場見学として受け入れるとともに、それぞれの職場の近隣小学校への訪問を実施しています。



職場見学の受入れの様子

地下鉄博物館の運営

地下鉄博物館は、日本で初めての地下鉄に関する博物館です。運営は公益財団法人メトロ文化財団が行い、地下鉄が都市生活の中でどのような役割を担っているかなどを「みて、ふれて、動かして」学習するというコンセプトのもと、特に小中学生などの若い世代のお客様に理解していただけるような展示を行っています。日本で最初の地下鉄車両や運転シミュレーター

などを展示する常設展のほか、特別展やイベントも実施しています。

<http://www.chikahaku.jp/>



地下鉄博物館

インターンシップの実施

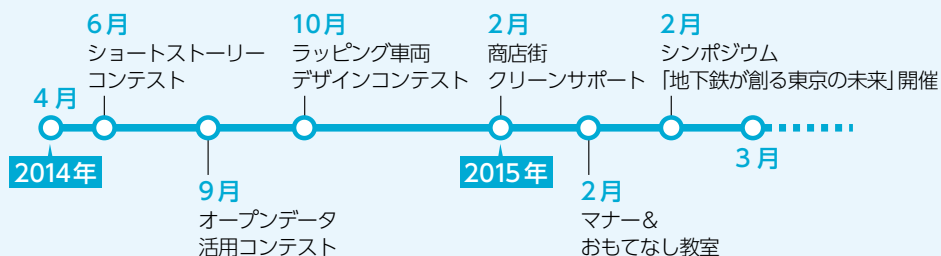
大学生・大学院生を対象に少人数制のインターンシップを行っています。2014年度は技術系（電気機械・土木・建築）及び事務系の大学生・大学院生を対象に、1週間の期間中、社員とコミュニケーションを取りながら各々の業務を通して、首都東

京の都市機能を支える仕事の責任と重要性を実感していただきました。



インターンシップの様子

東京メトロ創立10周年記念行事のご報告



東京メトロ創立10周年ロゴマーク



オープンデータ活用コンテスト (2014.9)

日本の鉄道事業者として初めて全線の列車位置、遅延時間等に係る情報をオープンデータで公開、当該データを活用したアプリの開発を競う「オープンデータ活用コンテスト」を実施しました。応募された281作品の中から時刻表アプリの「ココメトロ」がグランプリを受賞、列車がダイヤどおりに動かない場合でも取得したオープンデータによって運行情報や前後の列車の位置を見ることが出来るアプリケーションとなっています。



池間健仁さん作 ココメトロ



ラッピング車両デザインコンテスト (2014.10)

「わたしたちの『もっとうれしい東京』」をテーマに、未来の東京、未来の東京メトロをテーマにラッピング車両のデザインを募集しました。絵本作家の方にも審査いただき、912作品の中からグランプリ2作品・準グランプリ4作品が選ばれました。受賞した6作品は車体にラッピングされ、記念列車として3か月間銀座線で運行されました。

グリーンバグ 花さん
小学2年生 (学年は応募時)

作品意図 カラフルできれいな東京。みんな電車の窓から景色を見ているよ。

八代 晃太郎さん
小学1年生 (学年は応募時)

作品意図 あかるいきもちになれるようにれいんぼーでんしゃにしました。

他にも「ショートストーリーコンテスト」「商店街クリーンサポート」「マナー＆おもてなし教室」「シンポジウム『地下鉄が創る東京の未来』開催」などさまざまな催しを行いました。

地域貢献活動

福島県復興支援

東日本大震災及び原発事故などにより大きな被害を受けた福島県の復旧・復興を支援するため、銀座駅コンコースで、「福島産直市」を開催しています。2012年9月に初めて開催して以来、2014年度末までに6回開催しています。

福島県に対し東京から応援の気持ちを届けられるよう、一人

でも多くの方に支援の輪が広がることを願い、銀座駅から福島県の魅力をお伝えしています。



福島産直市の様子

非常用食品の寄贈

各職場で備蓄している非常用食品更新の際に、賞味期限が約1年以上残っている食品を廃棄せずに、福祉施設などへの食品提供を行うフードバンクへ寄贈しています。具体的には、2014年に、白飯・五目ごはん各約4,500袋、パン缶約4,500缶、クラッカー約2,200缶などの非常用食品、合計約2万食以上

を各職場から回収し、順次NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンに寄贈しました。



非常用食品寄贈の様子

音楽イベントの開催

東京メトログループでは様々な音楽イベントをお届けしています。

東京メトロでは、日頃のご利用に感謝を込めて、定期的に銀座駅コンコース（銀座のオアシス）において音楽ステージ「Metro Music Oasis」を開催しています。2014年9月には創立10周年を記念し、会場をホールに移し「METRO MUSIC OASIS THE SPECIAL 清水ミチコ ライブ」と題して500名の方々に楽しんでいただきました。

また、メトロ文化財団では、福祉活動に寄与するため、都内及び近郊の福祉施設、病院等において「音楽の贈りものコンサート」を開催し、2014年度末までに計64回実施しています。そのほか、気軽に楽しくクラシック音楽に触れていただくことを目的とした「メトロポリス・クラシックス」コンサートをホールにて開催するとともに、青少年などへの音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、定期的に地下鉄博物館において「メトロコンサート」及び2014年度には駅構内において「ステーションコンサートin渋谷」を開催しました。

国際支援

事業者との交流・視察受入れ

世界各地の地下鉄事業者などからの視察者の受入れや、国際協力機構（JICA）研修事業への協力を行い、積極的に国際社会への貢献に取り組んでいます。

また、国際会議・展示会の場を通じて、海外の鉄道関係者との交流や東京メトロの都市交通鉄道システムの先進性のアピールを図っています。その一環として、2014年4月、交通事業者の

国際組織である国際公共交通連合（UITP）の「アジア・太平洋部門会議」を、東京においてJR東日本と共同開催しました。

さらには、海外鉄道建設プロジェクト、国際協力機関への社員の派遣、日本コンサルタンツ株式会社への参画などを通じて、海外における地下鉄建設や運営技術への協力を行っています。

ハノイ市都市鉄道整備事業への支援

東京メトロがこれまで培ってきた地下鉄建設や都市鉄道運営のノウハウを活かすため、国際協力機構（JICA）が行う「ベトナム国ハノイ市都市鉄道規制機関強化及び運営組織設立支援プロジェクト」を日本コンサルタンツ株式会社と共同で受注し、ハノイ市の都市鉄道の運営及び維持・管理を行う組織の設立支援などを行っています。

その一環として2013年12月、ハノイ市及びJICAと協力して「JICAハノイ市都市鉄道セミナー」を開催し、現地の方々を

はじめ都市鉄道関係者に都市鉄道についての理解を深めていただきました。

また、2014年2月には、ハノイ市都市鉄道管理委員会と東京メトロにおいて、相互の理解と友好の絆を強めるとともに、成長著しいハノイ市の都市交通課題の解決と都市鉄道事業の発展に寄与するため、友好・協力に関する覚書を締結しました。

* ハノイ市都市鉄道整備事業については、P.7「重点施策7 海外への展開」も併せてご参照ください。